

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 日だまりハウス 別館

目標達成計画

作成日: 令和 2年 7月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		認知症のある利用者個々の身体・精神状態の理解、それに対する適切な自立支援が行われていない。	身体・精神状態等を理解し、ADL・QOL・残存能力をアセスメントする事で適切な介護を考察し実施する。	各職員が各利用者1人に対して自立支援の目標設定を行い、年に2～3回の評価及び必要に応じて目標変更を行い、1年を通じて各職員が自分のできる自立支援の援助を継続し評価する。	12ヶ月
2		職員の知識及び技術が個々に差がありサービスの低下が考えられる。	知識及び技術の向上を図る。	2～3ヶ月に1度各職員の介護技術(ケア)の確認を行い、利用者それぞれに応じたケアを考察する。個別指導を強化する。また、個々にあった知識および技術の向上の勉強資料等を作成する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。